

心理学関係学術図書のご案内

価格は税別。

青年期の運動行動を規定する要因とメンタルヘルスとの関係

清水 安夫著 5000円

大学生の身体活動の促進に関して心理的・社会的・環境的な規定要因を探索。大学体育における効果的な介入方法とメンタルヘルス改善のための新たなアプローチを検討。

睡眠障害に対する認知行動療法—行動睡眠医学的アプローチへの招待—

M.ペルリス・M.アロイア・B.クーン編 岡島義・福田一彦監訳 3200円

眠りを妨げる妨害要因と質の良い睡眠をもたらす促進要因に注目し、睡眠障害の改善を目指す認知行動的アプローチの詳細な手順を紹介。厳選した抄訳による手引き。

高校生の主観的學校ストレス—に関する研究

吉原 寛著 4500円

高校生の認知する學校ストレス—について、新たな視点から提案し、學校ストレス—に影響を与える要因や學校不適応への影響について検討した教育現場必携の書。

青年期女子における醜形恐怖心性とその関連要因

大村美菜子著 4000円

健常者の容姿に対する強いこだわりについて質問紙調査を行い、承認欲求および身体満足感との関連を検討。青年期女子の醜形恐怖心性に関する基礎的な資料を得た。

中学生における問題行動の要因と心理教育的介入

安藤美華代著 15000円

本書は健康行動学の視点から、中学生の問題行動に関する心理社会的要因を量的・質的研究の両面から検証し、心理教育的プログラムの開発に繋げた実践研究の集大成。

自己複雑性を高める介入プログラムの抑うつ低減効果

川人 潤子著 4500円

抑うつを低減する自己認知の複雑性に関する心理学的プログラムを開発。ランダム化比較試験デザインでの縦断的效果を検証し、プログラムの有用性を示唆する。

中学生へのドメスティックバイオレンス予防啓発に関する研究

須賀 朋子著 6000円

若年層のDVに対する知識の実態を明らかにし、中学生を対象とした予防啓発プログラムを開発。早期介入による効果を検証し、予防教育のあり方について論じる。

青年期における心理的居場所感の構造と機能に関する研究

則定百合子著 5500円

青年期の心理的居場所感について、概念の整理を行うとともに、発達的变化を含め、その構造と機能を実証的に検討。心理的居場所感の意義を多角的に明らかにする。

心理専門職によるアセスメントを基盤とした協働的援助

新井 雅著 9500円

心理専門職によるアセスメントを基盤とした教師との協働的援助について学校不適応事例から検討する。心理専門職の養成や教育訓練の在り方に新たな知見を提供。

保育者の効力感と自我同一性の形成

西山 修著 8000円

子どもの社会化に果たす保育者の役割は大きい。本書は領域「人間関係」の実践に関わる保育者の効力感と自我同一性を実証的に解明。新たな保育者支援の方途を拓く。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34
TEL 03-3291-5729 FAX 03-3291-5757

風 間 書 房

(URL) <http://www.kazamashobo.co.jp>
メールアドレス pub@kazamashobo.co.jp